

# 「岩手県における今後の特別支援教育の在り方」最終報告概要

発達障がい者支援体制整備検討委員会・広域特別支援連携協議会

## 1 「共に学び、共に育つ教育」の推進

「共に学び、共に育つ教育」を推進することは、共生社会の実現のため、すべての子どもたちに障がいやさまざまな違いを受け入れ、同じ仲間としての意識を育てるために必要な教育であるという認識をすべての教員、すべての県民が共有する必要があります。また、障がいのある子どもでも一人一人の教育的ニーズに応じて、地域の学校での教育が可能となるような取組を進める必要があります。

そのためには、現在の「就学指導」をより良い教育支援の在り方を検討する「就学支援」の理念に転換する必要があります。あわせて、その実現のための「認定就学者制度」の活用促進や特別支援学校分教室の設置促進、既存の特別支援学級や通級指導教室の設置拡大と発達障がいの児童生徒への対応を含めた機能充実などが必要です。

また、こうした制度的な取り組みと同時に、教員の専門性の向上及び人材育成や社会全体への啓発活動の推進も積極的に行われる必要があります。

### 具体的な提言

- 「就学指導」から「就学支援」への転換
- 認定就学者制度の活用
- 特別支援学校分教室の設置
- 特別支援学級、通級指導教室の機能充実、担当者の専門性向上
- 計画的な人材育成、人事交流
- 社会全体への啓発活動

## 2 すべての学校における特別支援教育体制の確立と充実

幼稚園から高等学校まですべての学校において、特別支援教育にかかわる支援体制を充実させる必要があります。そのためには、校内のみならず学校を支えるための外部からの支援体制の整備充実も重要です。

そのためには、校内では特別支援教育校内委員会の設置や機能充実を図り、個別の指導計画作成などの具体的な支援を充実させることが必要です。また、各校のこうした支援体制を支えるための特別支援教育支援員の配置、地域内における巡回相談システムの確立、教員研修等の実施などに積極的に取り組むことが望まれます。

なお、県立高等学校における発達障がいの生徒の受け入れや特別支援学校における今後の在り方などについても検討をすることが必要です。

#### 具体的な提言

特別支援教育にかかわる校内体制の確立と充実  
個別の指導計画等の作成推進と指導事例の普及，研修機会の充実  
特別支援教育支援員等の配置促進と資質向上  
新たな時代における高等学校，特別支援学校の在り方の検討  
地域における巡回相談体制の整備  
専門家の派遣システムの構築  
特別支援教育担当者，特別支援教育コーディネーターの専門性向上  
すべての教員への特別支援教育にかかわる研修の実施  
意図的，計画的な交流・共同学習の推進

### 3 関係機関が連携した支援体制の確立

幼稚園から高等学校までの各学校間の連携を密にするとともに，福祉，医療，労働等の各関係機関との連携を図りながら，より良い支援を継続できるシステムの構築が必要です。

そのためには，各校で作成する指導計画などを進学の際には確実に引き継ぐシステムを構築することが必要です。また，各地域に設立されている自立支援協議会などを有効に活用して，必要に応じて関係機関の関係者が集まった支援会議ができるシステムが求められます。

あわせて，就労支援にかかわっても，専門関係機関との連携を深めるとともに，企業や雇用主への理解啓発，公的機関での職場実習の拡大など積極的に取り組むことが求められます。

#### 具体的な提言

各校種が連携した支援体制の構築  
地域毎の支援会議が開催できるシステムの構築  
地域ボランティアの養成と活用促進  
職業教育と就労支援ネットワークの充実  
雇用に向けた理解啓発と公的機関における職場実習の拡大